

**【ワークシート③】 第1段階ワークシート：予想される誤解と間違いから「本質的な問い」・「永続的理解」を考える**

それぞれの項目に対して、第1章第2節の本文中で言及された南北戦争の例を記入例として入れています。「重大な観念」については、すべての枠を埋める必要はありません。ふだんの子どもたちの様子から「予想される誤解と間違い」を記入し、子どもたちにとって「理解」が難しい概念や論点を「重大な観念」として書き出してみてください。「本質的な問い」と「永続的理解」については、書き出した「重大な観念」や次ページの「理解の6側面」にもとづいて問いを引き出す言葉を参考にしながら考えてみてください。

<p><b>単元：</b></p>
<p><b>単元目標：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奴隷制や州の権利，リーダーシップ，西部の植民地，南部11州の連邦脱退などに重きを置いて，南北戦争の原因と結果を理解する。</li> <li>・</li> </ul>
<p><b>予想される誤解と間違い：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南北戦争は，奴隷制の道徳性をめぐって生じ，「善い人たち」が勝利した。</li> <li>・ 歴史科の教科書に書かれていることは真実である。</li> <li>・ 多くの出来事には，唯一で明確な原因と明確な結果がある。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>



重大な観念			
<p><b>概念：</b> 因果関係・真実・正当性・歴史</p>	<p><b>論点または論争：</b> 連邦政府による統制と州の権利の対立</p>	<p><b>プロセス：</b></p>	<p><b>逆説：</b></p>
<p><b>テーマ：</b></p>	<p><b>解決すべき問題：</b> 経済的，政治的，道徳的な問題としての奴隷制</p>	<p><b>理論：</b></p>	<p><b>仮説またはパースペクティブ：</b></p>



<p><b>「本質的な問い」：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南北戦争をもたらした明白な／明白ではない原因は何か？</li> <li>・ それはだれが語る「物語」なのか？</li> <li>・ 「正しい」戦争があるのか？</li> <li>・ なぜ同胞同士で殺し合うのか？</li> <li>・ 南北戦争の結果は，今の私たちに対してどのように関連するのか？</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p><b>「永続的理解」：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑な歴史的出来事には，唯一で明確な原因は滅多に存在しない。</li> <li>・ 歴史とは「物語」であり，語る人によって，描かれ方が異なる。</li> <li>・ 州の権利に関する意見の不一致や，南北での文化や経済の違い，奴隷をめぐる論争は，南北戦争の主な原因である。</li> <li>・ 南北戦争からの遺産は，地域格差や国政・地方政治，文化的価値観の問題のなかにまだ見いだされる。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
---	--

\* McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p. 75, 87 をもとに本宮裕示郎作成。奥村好美・西岡加名恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準，2020年，巻末資料③。